

平和と復興のため  
身命を賭け活動



アフガンの平和と復興のためには何が必要で、何を  
はならないのか。パキスタンでの医療援助活動を開始して以来27年。  
いままアフガニスタンの平和と復興のために身命を賭し活動する  
中村 哲医師に平和憲法を持つ日本のわたしたちが果たすべき国  
際貢献についてご講演いただきます。

なかむら てつ  
**中村 哲先生 ご略歴**

ペシャワール会現地代表:PMS(ピース・ジャパン・メディカル・サービス)総院長。  
1946年福岡県生まれ。九州大学医学部卒業。国内の病院勤務を経て、1984年パ  
キスタン北西辺境州(現:カイバル・パクトゥンクワ州)の州都ペシャワールのミッ  
ション病院ハンセン病棟に赴任しパキスタン人やアフガン難民のハンセン病治  
療を始める。その傍ら難民キャンプでアフガン難民の一般診療に携わる。1989  
年よりアフガニスタン国内へ活動を広げ、山岳部医療過疎地でハンセン病や結核  
など貧困層に多い疾患の診療を開始。2000年からは早魓が厳しくなるアフガニ  
スタンで飲料水・灌漑用井戸事業を始め、2003年から農村復興のため大がかり  
な水利事業に携わり現在に至る。専門=神経内科(現地では内科・外科もこなす)

**男声合唱団「昴」のプロフィール**

2000年春“大阪に憲法9条を守る、強力な男声合唱団を!”と「日本の  
うたごえ」を進めてきた「藤後博巳」や、現役のOBたち20人で結成。  
現在50名近くの団員を擁し、戦争反対の歌、平和と全世界の友好の  
歌、命と暮らしを守る歌、社会の真実を伝え、人々の心に連帯と勇気  
を引き起こす歌など、大阪を中心に活発な演奏活動を展開している。  
08年にはザ・シンフォニーホール、09年春には中国・南京公演、10年  
4月にはNHK大阪ホールでコンサートを行った。また、全国各地で行  
われる大会の「日本のうたごえ祭典・合唱コンクール」では毎年上位  
入賞を得ている。2011年11月には被災地陸前高田と大船渡で支援  
コンサートを行った。



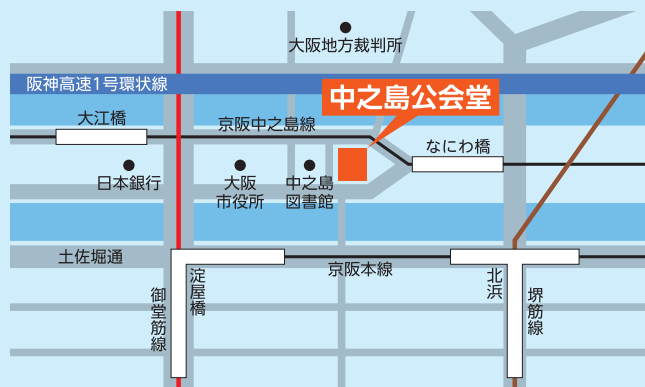
平和と友好を歌いあげる

**【当日の曲目】**

私の好きなこの街  
おらぁここがいい  
天の火  
芭蕉布  
ゆらゆら春  
川の流れるように  
百万本のバラ  
歓びのナーダム  
ねがい  
フィンランディア

**プログラム**

- 13:00** 開場
- 14:00** 男性合唱団「昴」
- 15:00** 記念講演  
「アフガンの大地から観る明日の世界と日本」  
ペシャワール会代表 中村 哲医師
- 17:00** 閉会



お問い合わせ先

**大阪府保険医協会**

〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33 TEL06-6568-7721

大阪府保険医協会

検索

お申込みは  
大阪府保険医協会まで

**FAX 06-6568-2389**

2012年 **6.10回** 男性合唱団『昴』・中村哲医師が語る「アフガンの大地から観る明日の世界と日本」

<input type="checkbox"/> <b>講演会に参加します</b> ( )人	TEL・FAX
	医療機関・団体名
	お名前

参加確認のため、ご連絡先、医療機関または団体名、お名前をご記入のうえ上記までFAXください。